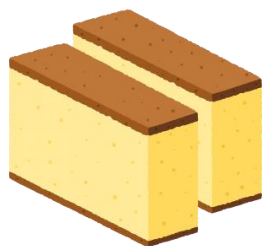


献立ひとくちメモ

10月13日(火)



長崎県のお話です。

日本の最西端に位置する長崎県は鎖国時代、唯一の貿易港を持ち、海外との交流の中で独特の食文化を築いてきました。

『ちゃんぽん』は、明治時代中期に、中華料理店の陳さんが長崎県で働いている中国人たちに安くて栄養価のある食事を提供するために作ったのが始まりとされています。

『浦上そばろ』とは、長崎県の浦上地区で生まれた料理で、野菜をたっぷり使った料理です。

『カステラ』は、室町時代の終わりにポルトガル人が長崎港にやってきて、スペインに古くからある「カスティラ」という王国のパンをお土産として渡したのがきっかけで日本に広く広まり、改良を重ねていまのカステラが誕生しました。